



うずまのほたる

平成 22 年 10 月 30 日
ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会
会長 森田 弘
広報班長 神山 芳典

10年目を迎えるにあたり

ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会
会長 森田 弘

「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」・・・長い会名だが・・・文字通り、中地区にほたるを甦らす事を目的にした会であります。

平成13年に中小学校が「田んぼの学校」に選ばれた際、中小学校の児童の夢“巴波川にほたるを甦らせる”をかなえるために学校・PTA・自治会長を中心とした地域、ボランティアの皆様を中心に発足しました。活動内容は、①ほたるのビオトープ、水辺のビオトープの整備・改修 ②ほたるの飼育 ③中地区ほたるを観る会の実施 ④巴波川へのほたる放流、カワニナの放流 ⑤田植え、稲刈りの協力 ⑥広報誌「うずまのほたる」の発行など、皆様のご協力のもと活動してまいりました。

中小学校ビオトープではほたるの光に歓声が上がり、皆様が楽しんでできました。

早いもので、今年で丸9年が過ぎようとしております。10年を迎えるにあたり「10年の歩み」を作ってはどうかと考えております。10年一区切りと言いますが、今後共皆様方にご協力をお願いしなくてはなりません。

この「十周年記念文集」にもご協力をお願いいたします。

本会の活動を振り返って

＝ボランティアの皆様へ感謝＝
中小学校長 青木 幸子

「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」は来年度10年目を迎えます。平成13年に小山市より「田んぼの学校」の指定を受け、その活動が始まりました。その頃学校では「総合的な学習」が始まり、5年生の子供たちが調査していくうちに、中地区には昔たくさんの「ほたる」が飛んでいたことが分かり、巴波川にほたるを甦らせようと思い、当時の自治会長さんと学校が中心になって「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」が発足しました。

翌年、第一回「中地区ほたるを観る会」が開催され、ほたるの飛び姿を鑑賞することができました。同時に6年生が研究発表を行いました。それから続けて8回目となり研究内容も異なり、とても充実した発表でした。19年度には会則をつくり、総会を開催しました。

20年度、長年の活動が認められ、栃木県と小山市の両教育委員会から表彰されました。また、体育館北側に「水道」を設置し、活動後の手足の洗い場として活用しています。

本校に赴任して5年目を迎えますが、ボランティアの皆様には「米作り」「ほたる」その他の活動で大変お世話になっています。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、どうぞよろしく申し上げます。

幻想的なほたるに感

～ ほたるを観る会・今年も盛況 ～

ビオトープの中は、ゆるやかに弧を描いて幾筋もの光が飛び交い、「ほたるを観る会」に参加された多数の中地区の方々の感動をよびました。また、今回ほたるを観る会のイベントは例年通り「ほたる観る会」「展示（ほたるの会・児童）」「ビデオ放映」に加えて、た児童たちは、ピカピカのシールがもらえるのが嬉しかった



察コーナー」「ほたるかご作り」「ほたる折り紙コーナー」本部役員による「クイズラリー」を行いました。参加し様子でみんな楽しそうに参加していました。

☆ ほたるの折り紙 1年

わたしは、おりがみでほたるをつくりました。はじめはこわれちゃったけど、つぎからじょうずにおれました。とってもかわいくできました。らいねんもまたつくりたいです。



☆ おかあさんと弟に 2年

おてっだいの人に教えてもらいながら折り紙でほたるを作りました。おかあさんと弟の分も作りました。ほたるがじょうずにおれたので、とても楽しかったです。

☆ クイズラリー 3年

クイズは少しむずしかったけど全部正解しました。うれしかったです。シールをもらいました。クイズコーナーがあったらまたやりたいです。

☆ クイズラリー 4年

ぼくは、ほたるをみる会で、クイズラリーのクイズ5問を全問正解してよかったです。ほたるを見たときはとてもきれいでした。ほたるをみる会はとても楽しかったです。

☆ O×クイズ 5年

私は、「ほたるを観る会」実行委員になりました。イベントでO×クイズを特にがんばりました。自分たちが考えた問題を楽しみながら参加するみんなを見て、実行委員になれてよかったです。



☆ 工夫したO×クイズ 6年

「ほたるを観る会」実行委員となり、O×クイズを工夫してやりました。1つはクイズでほたるの衣装で問題を出しました。2つ目はハンドベルのきれいな音色で答えのカウントをしたことです。

☆ 研究発表 6年

6年生は、今までほたるについて研究したことを発表しました。聞く人がよく分かるようにと、家でもたくさん練習しました。たくさんの方がいて緊張しましたが上手に発表ができてよかったです。



☆ 研究発表 6年

5年生のときに調べたほたるの事や巴波川の事をほたるを観る会で発表しました。家で何回も練習したので上手に発表する事ができました。5年生にもあとを受けついで調べてもらいたいです。

幻想的な光に感動 1年生保護者

私は生まれて初めてほたるを観ました。ほたるについて何も知らなかったのですが、「ほたるを観る会」で色々な知識を得ることが出来、とても勉強になりました。ほたるの幻想的な光を観た時は、とても感動しました。今後たくさんの人達に観てもらいたいと思います。

地域やOBのご協力に感謝 4年生保護者

今年も「ほたるを観る会」でのPTAのOBや育成会による売店はとても好評でした。本部OBの方にはフランクフルトと道の駅でお馴染みの“カウベル”のアイスクリーム販売を、美田地区育成会では、“美田の郷”のご協力を頂き、焼きそば・芋フライ・いなり寿司・おにぎりが販売されて、あつと言う間に完売となりました。毎年このような行事を続けていけるのも地域の方やOBの方々のご協力があればこそと感謝しております。

ほたるの飼育…順調で

来年の6月に飛び交うほたるの幼虫は、「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」ボランティアの皆さんの自宅で6月の下旬に卵が孵り、今は幼虫となって少しずつ大きく育っています。やがて2月の中旬にはビオトープに放流されて、「ほたるを観る会」で私たちに光のページェントを展開してくれる事でしょう。本当に楽しみです。飼育に当たっておられるボランティアのお二方に飼育の様子を伺いました。

す！

～ ほたるの飼育に挑戦 ～

増田 博利

～ ほたるは我が子 ～

神山 宜久

先輩方のご指導のもと、5月中旬よりまずカワニナ取りから始まり6月に入り、飼育箱の準備と幼虫の捕獲をし、飼育態勢を整えた。

飼育箱にミズゴケと幼虫を入れ、1日2回霧を吹きつけ、約1ヶ月後の7月中旬に、念願の幼虫らしき物体が活発に動く姿が確認された。水温管理に細心の注意を払いながら8月を迎えると、小さな成長した幼虫が確認された。9月には大きいもので体長約10ミリに成長した。

幼虫が数匹見られるようになり、どうにか飼育が成功した様だ。来る2月の放流が楽しみである。

振り返って見て、先輩方のご指導もあり、飼育は思ったより簡単でしたので、皆様も是非挑戦してみてください。

6月の初めごろ、ビオトープで、ほたるを捕獲しました。

初めての経験なので、先輩に教えてもらって、恐る恐る飼いはじめました。

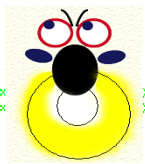
木箱（右の写真参照）にほたるを放しました。あとは幼虫が木箱の下の右の水槽におりてくるのを待つだけです。



毎日霧を吹いて乾かないようにしました。写真で木箱以外の水槽はカワニナ飼育用です。7月に幼虫が生まれたときは、それはもう… 家族が増えたような気持ちになりました。あとは、すくすくと成長してくれることを祈るだけです。自分の子供みたいだね。

ほたる一口

ほたるの翅<はね>



鳥のはねは手が進化しただけのもの【羽】※<抜けたはねの1部は「羽根」と書きますが、昆虫のはねは「翅」と書きます。昆虫のはねは体の皮膚が伸びてできているの【膜】を別しています。

ほたるは左右に2枚ずつ合計4枚の翅がありますが前の翅は硬化し、体を保護する役目をします。飛ぶときは、カブトムシが飛ぶときのように硬い前翅は開いて、主に後ろの翅を使います。ほたるが緩やかな曲線を描いてゆったりと飛ぶのはその理由です。後ろ翅は、ふだんは折りたたまれて硬い前翅の下に隠されています。

実りの秋！

えのき祭に向け

米の収穫作業

「田んぼの学校事業」として田植えした稲が順調に実り、米の収穫作業が行われました。

学校やほたるボランティアの方々・PTAの皆さんなど多数の指導協力を得て全校児童が収穫作業を体験しました。

☆ 九月九日（水）： 稲刈り作業

校長先生・大久保小山市長さんのご挨拶のあと松本昭二さんから安全に稲を刈る方法を説明していただき田んぼに入って作業開始です。

六年と一年・五年と二年・四年と三年がペアを組んで上の子が安全に稲を刈る指導をしながら稲を刈ります。

刈った稲は束ねて稲架に架けます。太陽の恵みを受けて自然乾燥された稲穂からはおいしいお米が収穫されます。



☆ 九月二十八日（月）： 脱穀作業

ボランティアさんが稲架に架けた稲束をはずして児童に渡します。児童は稲束を脱穀機へ運びボランティアさんに渡して脱穀作業が進みます。児童とボランティアさん・PTAの方々と人手が大勢で作業は順調に進みます。

稲架の三脚片付け作業・切断した稲わらを田んぼに均等に敷く作業も並行して行い、見る見るうちに脱穀作業が終りました。

※ 今年には百五十一キロの米の収穫ができました。えのき祭で児童の手によるおいしいカレーライスのご馳走が楽しみです。

＝編集後記＝

「うずまのほたる」の発行は今回で第14号を数えることになりました。今年の「ほたるを観る会」は、クイズラリーが好評でした。今後も広報活動を盛り上げていきたいと思ひます。

～ 「うずまのほたる」広報班 ～

神山 芳典・神山 宜久・田波耕太郎・田中 佐一・松沼 由美・早乙女洋子
仲木 照美・黒須かな子・須賀 幸江・田中 國雄・奥村 安・田澤 均